

『住民意見』

●全般

No.	属性	年代	ページ	意見
1	町民	60歳代	全体	・パブコメについてパブコメ用の基本計画ペーパーが歴大で正直とても読めないです。普通の町民であれば、日常忙しかったりするのでとてもこのペーパーを見てパブコメを提出するというのは、それ自体がすごくハードルが高いのではないのでしょうか？

●第1章 基本事項の整理

No.	属性	年代	ページ	意見
2	町民	60歳代	(素案) P4他 (案) P4 他	土屋接骨院について 私有地に関して、いまだ契約書が交わされていないと伺っています。何年前に、土屋接骨院が新設されました。まだ新しくきれいです。SDGs や CO2 削減、そこで暮らしているご家族の心情、接骨院の営み、接骨院を利用している人々の心情など総合的に考えますと、それらを犠牲にしてまで、私有地を買収する必要があるのかと頭を抱えてしまいます。
3	町民	70 歳代	(素案) P6 (案) P6	住民参画（6 頁）は総意とは言えない。 ⑥ 6 頁に A B C 案の決定にあたっては、「住民との合意形成のプロセスを重要視し、以下の意見聴取の場を設けました」、との説明がありますが、 <u>住民の総意とはとても言い難い</u> と判断しております。庁舎改築周辺整備事業推進委員会を度々傍聴しましたが、公募委員は積極的に意見を述べてましたが、公募以外の委員は殆ど発言しませんでした。しかし、公募以外の委員は数も多く黙示の同意でことが進んでいたという印象です。住民全てが区会員ではありませんし区長会でどれだけ地域住民の声を吸い上げられたか甚だ疑問です。また軽井沢町最大のステークホルダーである別荘住民が意見を述べる機会が極めて少ないと想像します。
4	町民	60歳代	(素案) P6 (案) P6	P6 に挙げられている項目はいずれも住民参画というよりは役所の意見を付度する多数を形成して、既定路線を押し切る（なんちゃって民主主義の）手段に見えます。少数の意見を聞く耳を持ち、それに対して丁寧には是非々々でコミュニケーションを行うスタンスをお願いしたいです。そのことにより多数が気がつかないことに気がつき、より良い庁舎ができるかと思

				いますがいかがでしょうか。 ということで全貌を理解しているわけではなくあくまで印象としてのコメントですが、お許してください。
5	町民	70歳代	(素案) P9 (案) P9	③ 9 頁の 5-1 新庁舎の基本理念と機能と題するところの (4) に国際親善文化観光都市として品位と調和を備えた緑の中の庁舎、<u>国際親善文化観光都市を完成させるための一つのピースとして、軽井沢らしさが詰まった「緑の中の町役場・公民館機能拡充施設」</u>として町の景観形成をリードしていきます。と書かれています。まるで歯の浮くような営業トークと一緒にです。環境保全を疎かにした乱開発が進む今の軽井沢に国際親善文化観光都市として世界に誇れるものはあまり残っていません。町の随所で先人が培ってきた景観が奪われている軽井沢から、いずれは(別荘)住民離れも進み、いつか(一時)を楽しむだけの観光客で溢れる町に成り下がってしまえば町の財政・運営にも影響が出ることが十分予想されます。
6	別荘所有者	70歳代	(素案) P10 (案) P10	「交流センター(コミュニティセンター)」機能を付加し、とあります。P38にも交流センターに移行する様な記述が見られます。しかしながら、交流センターに移行する目的や移行後に何を行う事を前提に交流センターにするのが説明不足です。飲食を伴うカフェや、入場料を徴収するためのイベント開催を考えているのかも知れませんが、町役場周辺には中軽井沢駅を中心とした沓掛テラスや図書館のイベントスペースがあり、近年駅周辺に増えつつある新規の店舗などと競合する事はあってはならないと思います。中軽井沢駅周辺の振興を図るために沓掛テラスが作られ、近年の中軽井沢や追分地区への移住者の増加に伴い、ようやく駅周辺が活性化しつつあります。新庁舎や交流センターがこれらの民業を圧迫する事があってはなりません。役場には十分な駐車場が確保されるようですので、その利便性から中軽井沢駅周辺からの人の流れが交流センターに移ってしまう可能性が大です。公民館機能への意見として色々な準商業施設を作る提案がなされたのかも知れませんが、P39にある「役割の明確化と既存施設との連鎖」の所には公共施設ばかりでなく、周辺の民間施設・店舗との連鎖も考慮すべきと考えます。現在の中央公民館にはない飲食スペースが必要であるのなら、役場の職員用食堂の利用や、休息スペースにベンディングマシンを設置するなどすれば十分ではないかと思います。公民館に求められる機能ですが、近年軽井沢へ移住してきた方や東京との2拠点生活を

				する方の中には、その文化的な分野でのエキスパートの方々が多く見受けられます。これらの方々とは住民との交流を通じてご自分の専門分野を理解してもらったり、或いは新たな理解者作りを望んでいる方も多いと思います。その為の特殊なスペースは、例えば茶室であるとか、能舞台であるとか、セミナールームであるとか、調理室など様々です。新公民館にこれらの機能を準備する事に寄って新たな利用が掘り起こされ、それが軽井沢町の文化となり軽井沢の価値を高めて行く事になるでしょう。
7	別荘所有者	70歳代	(素案) P12他 (案) P12他	新庁舎のスケッチデザインは非常に良いと思います。八ヶ岳高原音楽堂を彷彿させますが、軽井沢も高原であり吉村順三の自宅別荘を始め多くの建築が存在しているので、良いと思います。
8	町民	60歳代	(素案) P13 (案) P12	「質実剛健で品格ある“軽井沢らしい” ⇒p14で質実剛健とありますが、p69で事業費123億円とあります。いくら藤巻プランのままで162億円を40億円削減したと言っても、詭弁に聞こえますし、どんなに丁寧に説明してもらっても土俵を割った印象を受けます。 自分の家を建てるようなときにインフレで当初の予算が増えたので「仕方ないネ、金があるからまあいいや」というふうに考えるでしょうか。町長選の時に最大の争点であり、100億円を越える建設費は軽井沢町は「やっぱり金持ちネ」という会話となり、町がめざす「質実剛健で品格ある“軽井沢らしい”とは真逆の「金満の町」という印象となることを懸念します。
9	町民	60歳代	(素案) P13 (案) P12	1) 以上のような金持ちの町・軽井沢のイメージを少しでも和らげ、文化レベルが高いネとなる象徴的な方法として(ここまで機会あるときに何回か提案していることではありますが) ・改修中の旧三笠ホテルの役場での活用(生涯教育課とか観光経済課)、旧三笠ホテルを有効活用することで役場の面積を減らせるというアピール、具体的な文化活動推進(中央公民館ではなく旧三笠ホテルを活用した文化イベントの実施など)、観光政策の推進(軽井沢の歴史は観光資源だと思いますが、今、ドッグだとか会議だとか福井との連携だとか、どこの町でもしているような平凡な流れは私は(否定はしませんが)残念に思っています..)を打ち出すなど。現在は旧三笠ホテルの運営は指定管理に丸投げと聞いています。 2) すでに決定済ではありますが、中央公民館機能の各地区公民館の活用・分散による、新庁舎のさらなるスリム化と町民と

				の距離を近くするコミュニケーション拡大、災害時のリスク分散策の具体化（庁舎を（役場ということを理由に要綱の例外として）3階建てにして貯蔵庫にするというのも「？」という感じです） 現在、日本各地で見られる昭和の廃虚ビルなどを見ると、大きな建物は50年後にどうなるのか少し心配です。
10	町民	60歳代	（素案） P13 （案） P12	以上、（提出期限まであと少しで、もう提出は時間切れであきらめようかとも思いましたが）気がつくことコメントします。最後ですが、新町長となって、役場の皆さまも頑張っていると感じます。コメントはしますが、応援しています。 パブコメの個別の回答を大変でしょうからしないまでも、どういう意見があって、それに対して役場の賛成反対など考え・意見・コメントあればありがたいと思いますがいかがでしょう。たとえば上記のような私の意見に役場が反対であってもかまいません、むしろこういう理由で反対だというところがあればぜひ聞きたいなと思ったりします。それで私もまた自分の意見を見直すことができると思います。
11	別荘所有者	60歳代	（素案） P14 （案） P13	見本写真のフィンランド アルバアアルトの市庁舎のような（フィンランドは針葉樹でしょうが、）木に埋もれた町役場はいかがでしょうか？見取り図を見ますと、基本的に芝生の広場が目立つように見えますが、湯川両脇や長倉神社周辺のような落葉広葉樹の森にできませんか？町役場は国道から見えなくて良いですから。 同様に、国道から見ると軽井沢病院の広い駐車場ばかりが見えるのではないのでしょうか？駐車場の周辺や通路を落葉広葉樹でおおって周辺から見ると緑の森にできませんか？

●第2章 施設計画の検討

No.	属性	年代	ページ	意見
12	別荘所有者	70歳代	（素案） P18 （案） P16	アクセス道路 新施設への入口を現在のホームセンターの向かい側辺りに想定しています。一方、町道鶴溜線と R18 との交差点には右折レーンを設置し、将来は信号機の設置も検討しています。町道鶴溜線の向かい側は住宅地であり、ここを駐車場へのアクセス道路とする事は避けるべきだと考えます。信号を設置すれば現在中軽井沢駅前交差点を先頭とする追分方面からの渋滞の先頭がこの信号機となる可能性が大ですし、その先の中学校前の信号及び南原入口の信号にかけて切れ目のない渋滞が発生する可能性もあります。もしそうになったら渋滞を迂回す

				るために生活道路に車が侵入して来ることでしょう。信号の設置は避けるべきと考えます。これに依り新施設駐車場のメインのアクセスと軽井沢病院へのアクセスを統合し、現在計画されているホームセンタ前よりからガソリンスタンド脇に移し、不必要とも思われるガソリンスタンドと新施設エリア入口からのアクセス道路に挟まれた駐車場をなくすことが出来、スペースの有効利用に繋がると共に、ホームセンターからの出入りの車との干渉も避けられる。
13	町民	70 歳代	(素案) P34～35 (案) P19～20	<u>(3) 町長選挙の結果は反故にされた事実。住民投票で賛否を問うことも検討願います。</u> ⑦町長選挙を控えた 2022 年 12 月、土屋町長は次のように発言していました。「前町長時代の箱物建設（アイスパーク、中学校、発地市場）で浅間山の災害に備えるための基金は減り、また、その間公共交通、インフラや医療の整備は後回しになってしまった。新庁舎については渋滞もある中、庁舎の場所は集客のための交流施設、コワーキングスペース、公園などには相応しくない。民間の店舗・施設など事業への影響も考慮した方が良いでしょう。」
14	町民	70歳代	(素案) P34～35 (案) P19～20	⑧まちの縁側（34/35 頁）、公民館から交流センターへ（38/39 頁）で記述された内容は上述の町長の選挙前の発言と真逆です。土屋町長なら町役場の箱物行政を変えてくれると期待し投票した人々の期待を裏切るものです。
15	町民	70歳代	(素案) P34～35 (案) P19～20	⑨町が住民参画を口先だけでなく真に望むのであれば別荘住民を含めた納税者全員の住民投票を行うのが後々禍根を残さぬ方法と判断します。

●第3章 構造・設備計画の検討

No.	属性	年代	ページ	意見
16	町民	70歳代	(素案) P41～44 (案) P39～42	<u>(4) 防災拠点の分散配備も同時に推進願います。</u> ⑩42/43/44 頁：防災時の司令塔は必要ですが、庁舎が拠点だからと言う理由で庁舎自体に過度な防災機能を持たせることは現実的ではないと考えます。軽井沢病院や中学校の施設設備の利用も可能でしょう。 <u>災害発生時に職員が一斉に庁舎に駆けつけることが出来るでしょうか？</u> むしろ拠点は複数地域に分散配備し、また地域

				の公民館分館を改築してでも地域の備えを厚くしていくことが望ましいと考えます。
17	別荘所有者	70歳代	(素案) P46～47 (案) P43～44	カーボンニュートラルや ZEB ready とありますが、光害への配慮がないように見えます。照明は傘を被せて下向きにして、星の景観が見えるようにできませんでしょうか？役場周辺から見て浅間山の上に満天の星が見えてこそ軽井沢だと思いますが。
18	別荘所有者	70歳代	(素案) P49 (案) P47	ZEB Ready ～ Nearly ZEB 太陽光発電の将来技術が現時点では実績が無いのと、現在普及している太陽電池は外国政府補助金による不公正な貿易によって生産されているものでありことから、当初は敢えて現在技術の太陽光パネルは設置せずに将来技術動向によって Nearly ZEB にする事を前提とした設備を予め入れておくのが良いと思います。

●第4章 景観デザインの検討

No.	属性	年代	ページ	意見
19	別荘所有者	70歳代	(素案) P49 (案) P47	新設する駐車場は、砂利やアスファルトではなく、出来るだけ自然素材の物が使えると良い。例えば、車輪が載らない車体の下は植物にするなど、軽井沢の駐車場としての見本となる様なものを考えて欲しい。
19	別荘所有者	70歳代	(素案) P49 (案) P47	前 (No.2) にも述べたが、駅周辺の民間施設を圧迫するようなものを作ってはならない。

●第5章 事業計画

No.	属性	年代	ページ	意見
20	町民	70歳代	(素案) P71～72 (案) P67～68	<u>(1) 事業費：50 億円に抑える検討をお願いします。</u> ①総事業費が昨年の叩き台では 88～105 億円だったものが今回の素案では 120～125 億円と増え、基金・補助金を使っても残りの 75 億円は借金で賄わざるを得ぬ計画となっています。将来世代にツケを回すばかりか、少子高齢化と若年層の町外流出が長期的トレンドの時代にあって、軽井沢町財政破綻を招く事態も予想されます。町の財政が破綻すれば、補助を受けて運営されている町内公営企業から公共交通機関・しのの鉄道まで影響を受けます。そんな事態は誰も望まないはずで

				す。庁舎建て替えは自前資金で50億円程度に抑え、一方で軽井沢町が健全な姿で生き残るための街づくり（具体案はあるがここでは触れない）にこそ優先的に資金と時間を投入すべきです。
21	町民	70歳代	（素案） P71～72 （案） P67～68	②庁舎本来のあるべき機能の上に過度なデザインを加えたり無いものねだりの欲を沸き立たせるような設計思想と決別出来れば50億円程度の庁舎建て替えは可能です。 <u>設計管理に関わる費用が9.7億円から13.3億円に増額されることになんの疑問も抱かぬ町の担当部署への不信感は募ります。</u>
22	町民	70歳代	（素案） P71～72 （案） P67～68	<u>（2）町財政のシュミレーションを求めます。</u> ④事業費策定に当たっては、将来の町財政のシュミレーションを3～4通り程度用意し、財務諸表数値と共に住民に示すことを求めます。120～125億円かけてでもやるべき事業か、或いは減額すべきかどうか、住民の正しい判断に必要です。
23	町民	70歳代	（素案） P71～72 （案） P67～68	⑤軽井沢病院は数年来の不適切な会計処理の疑いを持たれて地方財政法、会計法、地方公務員法等の規定まで踏み込んだ住民監査請求があったとニュースで報じられましたが、軽井沢町自体の決算においても新地方公会計制度導入の際に財産の増減、特にインフラなどの減価償却対象資産の把握が十分出来ておらず今後のインフラの保守・更新時に思わぬ費用が必要となる可能性があると考えます。軽井沢病院も町の経営です。 <u>町の財政・運営に対する不信感があるなかで、120から125億円もの事業費はとても認められるものではないと考えます。</u>

『職員意見』

●全般

No.	ページ	意見
1	全体	職員から聴取した意見をきちんと反映させてほしい。
2	(素案) P8 (3) (案) P8 (3)	住民の意見は聞いていますが、職員の意見はどのようなのでしょうか。一部の職員は知っているかと思いますが、職員全員に投げかけられているのでしょうか。 公民館機能としての住民意見の反映はもちろんですが、庁舎機能は来訪者より、来訪者のために職員が考えた方がより親切丁寧かと思います。 全体にも及ぶ話にはなりますが、災害拠点としてどうお考えなのでしょうか。関係する部署との対話は、十分にされているのでしょうか。
3	(素案) P9 (3) (案)	新たに新庁舎に配置する課等に保健福祉課(保健センター)とあるが、保健センター以外の係等はどうなるのか？ 福祉係、高齢者係、地域包括支援係、健康推進系の事業等が深くつながっており、連携が不可欠であるため同一拠点としていただきたい。
4	P9 (3)	保健センターを新庁舎に配置した場合に、乳幼児健診や成人健診専用の会場は確保できるのか。少なくとも現状と同じように診察室2か所と3～4か所の個室(会場が仕切れれば個室でなくても良い)が必要。
5	(素案) P11 (案) P11	章ごとに、図番号がリセットされ、1になる。図4-4-1と3桁表示もあり、図の番号について付け方などを統一していいと思う。 図1-2(11ページ)がない

●第1章 基本事項の整理

No.	ページ	意見
6	(素案) P2 (3) (案) P2 (3)	『(3) 情報化・セキュリティ対策の課題』 既設配線の混雑などにより情報ネットワーク環境の拡張や最新のセキュリティシステムの構築が難しいことから、今後大きな変化を遂げる情報化社会(ICT・AI・DXなど)への対応が困難な状況となっています。』の言い回しについて、見直した方がよい。
7	(素案) P7 (2) (案) P7 (2)	B案とC案の比較、既にこれで説明しているのだと思いますが「B案に劣る」記述が多く、意見を誘導したように受け取られる恐れがあるため、書き方を変えてはどうでしょうか。
8	(素案) P9 (1) (案)	「防災拠点として機能継続できる堅牢な庁舎とします」のうち「堅牢」という表現は、過度に強固(コストがかかる)な建物を連想させるため、「防災拠点としての機能を維持・継続させるために必要な措置を講じた庁舎とします」のような幅を持たせた表現にした方が、前段の減災の考えを取り入れて被害を最小限に抑える

	P9 (1)	というコンセプトに合ってくるかと思います。
9	(素案) P3 (4) P9 (1) P10 (4) (案) P3 (4) P9 (1) P10 (4)	災害対策本部の設備・機能不足を現庁舎の課題としていますが、基本理念には防災拠点（避難所）としての機能を有する施設となっており、課題と基本理念の視点に違和感があります。 災害対策本部 ＝ 防災拠点（避難所）ではないです。 災害対策本部の機能を〇〇に配置します、災害時の機動性に優れた配置・導線にしますと表現した方が理解を得やすいかと思います。 課題もしくは基本理念の修正が必要かと思います。
10	(素案) P9 (3) (案) P9 (3)	『誰もが快適に利用できるユニバーサルデザインを意識した庁舎とします。また、ゆとりある待合スペースの確保や、窓口をできる限り集約させるとともにDX化を進めることで、分散する各施設に各部署の再配置を適切に行い、住民にとってより利便性の高い庁舎とします。』の言い回しについて、見直した方がよい。

●第2章 施設計画の検討

No.	ページ	意見
11	(素案)	建物のデザイン性は不要。機能性を重視して四角四面の庁舎で良い。
12	P13 図1-4他 (案) P12 図1-4他	軽井沢らしい建物はいいが、ランニングコストや使い勝手が損なわれないような建物にしてもらいたい。
13	(素案) P14 (案) P13	軽井沢を代表とする建築課としてヴォーリズ、レーモンド、吉村順三氏挙げており、ヴォーリズ、レーモンドに関しては軽井沢の建物を写真で使用しているが、吉村氏の建物は八ヶ岳と繋がりが見えない。フィンランドについては、軽井沢の気候と親和性があるとして参考例としているため、同じようになぜ八ヶ岳を例として挙げているのか明記した方が良いのでは？
14	(素案) P15・16 (案)	オープンスペースや誰もが気軽に立ち寄れると併せて、相談室や診察室などの個室の確保もお願いしたいです。また検診車のスペースと併せて、プライバシーに配慮された場所をお願いしたい。 健診会場は明るい照明でお願いしたいです。
15	P14	緑地部分が多すぎる。植樹は良いとして、夏場の草刈や冬場の除雪などの維持管理費がかかる。
16	(素案) P18	国道から奥まった場所に庁舎があり、利用しにくい。18号線に面した緑地部分を駐車場にした方が良くと思う。

17	図2-3 (案)	駐車場を集約するのであれば建物の18号線側にすることで、より地盤レベルの高い位置に建物を寄せることができ、浸水のリスク軽減に繋がると思います。 (P7 B 案 防災面への対応)
18	P16 図2-3	現在の公用車用駐車場の位置で庁舎を敷地の西側に配置した場合、職員と来客や公民館利用者との導線が重なるので、導線は可能な限り分けたほうが良いと思います。移動距離が長いと荷物を持っている時など不便で、急いでいる時などは利用者への配慮に欠けて接触の危険もあると思います。特に、災害時の対応などは緊急を要する場面も多く、支障をきたすので、防災拠点とは相反する配置かと思います。表裏のない建物というコンセプトもあるかと思いますが、庁舎との往来が容易で、荷物の積み下ろしなども含め、職員の作業環境向上のため、バックヤードを設けて庁舎の近くに公用車用駐車場を配置することで職員の負担軽減に繋がると思います。建物や庭に品格があっても、利用形態で品格を損なうこととなりかねないので、人、車の導線の検討は重要だと思います。 工事を進める上での行程で工事ヤードを確保するための配置かと思いますが、最終的には、敷地北西の角あたりに公用車用駐車場を配置し、その周辺にバックヤードの機能を集約させた方が、庁舎敷地内で一般車両との導線が重なることが少なく、周辺道路へのアクセスも良くなると思います。
19		新庁舎と病院の間に敷地内道路を設けることにより、利用者歩行導線が車両導線と重なり危険なため、利用者駐車場、公用車駐車場の道路は外側にしたらどうか。
20		敷地内道路は、抜け道及び信号設置による国道18号の更なる渋滞を引き起こすためメインロータリーまでで良いのでは。
21		駐車場を敷地北側（元中央公民館敷地）に計画されているが、現在、中央公民館から出る際、南側から車がくると、直前にカーブがあり、でにくかったり、危険性を感じることもある。安全性に配慮した出入口（位置含め）になるようお願いしたい。
22		町道鶴溜線の幅員について、国道18号線側の一部を拡幅する計画となっているが、駐輪場が駐車場側にあることや、通行量が多くなることを踏まえ、拡幅の距離を延長し、自転車が安全に走行できるよう配慮する形状にできれば良いと考える。桜広場までの導線など、既に想定されているようであればご放念ください。
23		メインロータリーが正面出入口になるかと思うが、主景(景色)が病院や緊急車両の出入口となるが良いか。
24		サブロータリーの出入口が日陰となる可能性があるため、冬季の凍結対策は？
25	(素案) P21 (3)及び図3-3 (案) P4	「屋根裏の一部を防災上重要な機器の設置場所として検討」 防災上重要な機器は、非常時に迅速な対応がとれるように関係する諸室の近くで、日常点検が容易な場所に設置したほうが良いと思います。 あえて防災上重要な機器とするのではなく、設備スペース程度の記載で良いのではないのでしょうか。

26	(素案) P21 (2)	中庭が検討されているが、軽井沢町は降雪後の凍結等により、屋根の形状（庇等）に工夫が必要だと考えるため、中庭を設けることにより、庇等の範囲が大きくなり、管理が大変になるのではないかと感じている。
	(案) P21 (2)	建設コストも大きくなったり、降雪時の雪かき等を考慮すると、中庭はやめたほうがいいのではないかと。
27	(素案) P22 (1)	窓口等から事務フロア全体が見渡せるのは、透明性があって良いと思うが、個人情報を取扱う部署では会話や電話の音が、部外者に聞こえてしまわないように配慮する必要がある。
28	(案) P22 (1)	今の庁舎は、障がいや小さい子供がいる方等、生活弱者（言葉が誤っていたらすみません）に対する思いやりが一つもない。 転入出等あらゆる届け出の際に、多いと3か所（本庁、こもれび、中央公民館）を行き来する必要がある。 新庁舎では導線を考えて、職員同士が声を掛けあえる距離にまとめて欲しい。 （来庁者を移動させるのではなく職員が交代していくイメージ→P25ワンストップ対応テーブル、カウンター）
29	(素案) P22	『DX※などによる将来の窓口サービスの変化に柔軟に対応できる空間づくり
	(案) P22	※DX: Digital Transformation（デジタル技術による変革）の略。自治体におけるDXとは、デジタル技術を活用して業務の効率化や利便性の向上をはかり、住民に対する行政サービスの維持と向上を目指す取り組みのことを指す。』の言い回しについて、見直した方がよい。
30	(素案) P23～ P24	画像のキャプションがずれている。 図4-1-5 → 図4-1-3 キャッシュレスの画像 キャプションなし 図4-1-3 → 図4-1-5
	(案) P23～ P24	図4-1-4 → 図4-1-6 ではないか？
31	(素案) P26 (8)	『・これからのDX推進（オンライン窓口やマイナンバーカードの活用など）による、将来的な窓口スペースの変化に対応するフロア環境を目指します。』の言い回しについて、見直した方がよい。
32	(案) P26 (8)	窓口が自由化するとして、応対中に必要のない行政情報が入ったPCやデータを町民スペース側に移動できないようにして置かなければならない。
33		コンビニエンスストア等をテナント誘致することで、憩いの場のプライオリティが高まると共に、住民の手続きに来庁するハードルも下がるのではないかと思います。
34	(素案) P27	オープン型の執務室は良いが、住基等個人情報を扱う課も多いので、すべての壁を取り払ってよいのか。
	(案)	個人情報に対して、セキュリティ強化をするとして、自由に動けるスペースとそうでないスペースのバランスを取ってほしい。

35	P27	「各課を隔てる壁のない、オープンな形式を基本とする」は大事だがマイナスイメージや個人情報扱う部署に関しては、留意してほしい。担当者や担当課だけが注意していても配置等で防ぎきれないものであると担当が困るので。
36		会議室の利便性が悪いので改善をしていただきたい。 提案として、自治会館の1F会議室のように、パーティション（移動式の壁）で、大きな会議小さな会議に対応できるようになれば良いと思う。 それにプラスして、窓口付近にも相談室として防音の個室を設けて欲しい。
37	(素案) P27 (2) (案) P27 (2)	『・フリーアドレス【新庁舎移転前から導入検討】 ・省スペース化、職員間のコミュニケーションの活性化、業務の効率化に向けてフリーアドレスの導入を積極的に行っていきます。令和6年度に先行導入した情報推進課執務室では、上記の効果が見られたため、新庁舎移転時に本格導入を検討していきます。』の言い回しについて、見直した方がよい。
38	(素案) P29 (5)	『・会議室や打合せスペースなどの共用スペースは、職員と住民が効率的に利用できるような予約システムを導入することで運用できる仕組みを検討します。』の言い回しについて、見直した方がよい。
39	(案) P29 (5)	会議スペースの他、相談室を充実させてほしい。
40	(素案)	『ペーパーレスに～を進めます。～』の言い回しについて、見直した方がよい。
41	P29 (6) (案) P29 (6)	現在は、窓口のカウンターにポスターが貼ってあるが、例えばポスターをPDF化して大型モニターにスライドショーのように流すことができないか。一カ所に座って待っている時間でも、より多くの情報に触れることができるし、ポスターだらけにならず、景観に配慮できると思う
42	(素案) P34 (1) (案) P18 (1)	外構が完成形ではないのに、希少植物をそこで育てることにして違和感があります。
43	(素案) P35 (3) (案) P20 (4)	住民のサードプレイスとなる環境の整備関連で、くつろぎスペースや飲食が可能なテーブル席の配置などが検討されているが、職員や来庁者が利用可能な、食堂の設置を検討してほしい。

●第3章 構造・設備計画の検討

No.	ページ	意見
44	(素案) P41 図 1-3	「降灰のついては、約1000年に1度の大規模噴火時は・・・」文章がおかしいです。また、「約1000年に1度」という表現は使用しませんし、各種会議等においても聞いたことがありません。火山災害は、過去の状況から想定することから、記載するのであれば、「過去2000年に3回発生」が火山防災マップにも記載されている表現

	(案) P39 図1-4	になります。
45	(素案) P42 (2) (案) P40 (2)	公民館機能拡充施設は二次避難所になるかと思うが、災害時に避難所として使用することを想定した設計をお願いしたい。(トイレ、シャワー、調理場、空調、通信機器、避難所の混雑状況を可視化できるシステム等の整備、床に敷くマット、ファミリーテント等の収納等)
46	(素案) P44 図1-10 (案) P42 図1-10	受水槽の設置場所について、明示があればよいと思います また災害時に備え、受水槽は給水栓付きが望まれると思います。
47	(素案) P54 図2-2 (案) P53 図2-2	緑が多いのは良いことかと思いますが、昨今温暖化が問題視されるなか、木陰のない緑地に人が寄り付くとは思えません。通りから丸見えになる場所にも人は寄り付きません。庭の維持管理も大変かと思います。 死角がないので来訪者の反応は悪くないと思いますが、その反面、見せられない部分(車庫、防災倉庫、現場関係の詰所、喫煙所等)への弊害がどこかで露呈すると思います。そのためには建物内部(庁舎・公民館)の配置も重要かと思います。
48	(素案) P57 (1) (案) P56 (1)	『～D Xやリモートワークなど～』の言い回しについて、見直した方がよい。

『推進委員意見』

●全般

No.	ページ	意見
1	全体	そのドラフトに、前回の会議での私の発言がどの程度反映されるかに関心を持っています。 ポイントとしては、庁舎の完成がゴールではなく、庁舎が「住民の生活やシビックプライドの向上に資する機能を果たし続ける事」がゴールであり、そのためには完成後のオペレーションを十分に設計段階から検討しておく必要があると考えています。 そのためには役場職員だけではできないオペレーションの民間へのアウトソースをする分野を仮にでも良いので特定し、設計段階から民間の経験値やノウハウを得ていくことが重要と考えています。そのあたりの基本的な計画を、是非とも基本計画に盛り込んでほしいと思っています。交流センターの飲食機能や、前庭や中庭の設備、(どうなるかわかりませんが) 中央公民館跡地などを使って、何ができるかを、是非とも住民の有識者・経験者の知恵を交えて考えていきたいと思っています。もちろん、僕も言いつばなしではなく、これらのプロジェクトをまた牽引していく役割を担う準備はあります。
2	全体	3) 公民館に関しての需要調査 (株)Dialogic Consulting による公民館利用者(団体含む)以外の調査は、次のように行ったとありました。 ・住民アンケート (Web) : 199回答 ・中高生アンケート (Web) : 111回答 ・対話型リサーチ : 12月22日 (日) 14名参加 調査会社の分析は報告されましたが、調査方法、調査対象の属性は不明でした。アンケートやリサーチ協力を何人にどのように依頼したか、協力された方々の年齢、性別、居住地、職業、公民館利用経験の有無、対話の場合はその態様(個別、グループ、時間数)などをお教えてください(調査対象者の偏りがあっては不正確な調査になると思いますので)。 また「なぜ新しい交流センターを要望するのか」「希望する活動が他の町内の施設では何故できないか」といった、庁舎周辺整備計画に直接関係する設問がなかったように見えますが、どうしてでしょうか。
3	全体	■町長選での選挙公約 まず当初の周辺整備基本計画案に対して 2022 年 7 月に行われたパブコメでは、多額な庁舎周辺整備は不要と少なからぬ投稿がありました。そして 2023 年 2 月の町長選挙において庁舎改築が主要な論点となった時に、土屋現町長が公約とされたのは「予算配分を見直し、110 億円庁舎整備はやめて、医療・公共交通の整備を進める、交流施設は無理矢理作る必要は無い」でした。 土屋みちおの訴え！～変えたい！声がとどく信頼のまちへ そして新町長の下、見直しが図られた結果、2023 年 9 月に発表された「見直し方

		針」では、「公民館機能拡充施設の検討委員会を立上げ、公募委員も含めた議論の場を設定する」となりました。 そのため同年 11 月から公募委員となった私は、これまでの経緯を咀嚼した上で「既存の中央公民館の活用や施設の分棟化の可能性」についても議論させていただきました。2025 年 1 月、町部局の裁定により、現公民館の解体、庁舎との一体化案でまとまりましたが、公民館の機能拡充⇒交流センターの新設については、私は、土屋町長の公約「交流施設は無理矢理作る必要は無い」が民意の大勢と考え、委員会でも議論を深めていただきたいと思います。
--	--	--

●第 2 章 施設計画の検討

No.	ページ	意見
4	(素案) P10他 (案) P10	■ (新) 交流センターの創設 町部局から調査委託された(株)Dialogic Consulting の調査報告に寄れば、現公民館の年間稼働率は 31%、100%稼働は日曜、8 月第一週、11 月第一週に極端に偏っているとのことでした。従ってこの間の利用集中の緩和に努め、老人福祉センターの機能吸収についても日曜日の対応について調整を進めれば、スペースとしては現在の床面積(2500 m²)で足りると思われます。 従って面積の増床については、p13 にあります「新たな人の繋がりを創出する施設として交流センター（コミュニティセンター）」機能がどれほど町民・住民から求められているかが重要です。コミュニティセンターは全国の自治体で少なからず建設されているので、それ自身唐突な提案とは思いませんが、少なくとも軽井沢町では、以下の点を十分に議論すべきと思います。 1) 立地 多くのコミュニティセンターは、その地域の交通要所（ex. 駅）に設けられています。他用で行き交う人たちが気軽に立ち寄れるという場設定です。一方で現計画地は駐車場計画でも分かるように多くの方が車で来られるので、来訪目的が明確な場所です。大勢の人が行き交う、何となく立ち寄ることで「新たな人の繋がりを創出する」には無理があります。 2) 住民のニーズ 調査報告書の「ポテンシャル・ユーザー」とはいったい何か。町役場としては、軽井沢愛が育ち住民に親しまれることはうれしいかもしれませんが、それが業務の第一目的ではありません。昨今問題となっている軽井沢病院然り、集中豪雨による斜面崩壊然り、バスの運行減や交通渋滞然りなど、住民の最も関心が高い政策に「予算を重点配分すべき」という土屋町長のお考えは、多くの選挙民の共感を呼んでいたと思います。 3) 民間施設との競合 軽井沢町が多くの他市町村と異なるのは、民間事業者による文化施設、集合施設が圧倒的に多い点です。そういった施設がほとんどない土地であれば、貴重な財源を投じることも理解できますが、軽井沢町はその必要がありません。

		ん。逆に公営を拡大することで民間事業者の営業機会を奪うとさえ言えます。軽井沢愛を持って地域に貢献する活動であれば、ハード（建物）よりもソフト（活動費）を助成するべきで、その中で民間施設の利用料を 100%保証すれば良いだけの話です。
--	--	---

●第5章 事業計画

No.	ページ	意見
5	(素案) P68～71 (案) P64～67	基本計画の素案ですが、計画自体民有地買収ができなければ、白紙になりうる計画で、予算に関しても見積以上に事業費がかさむ可能性があり、金利の動向では利子額が増え若い世代にさらなる負担をしいるので、起債に関してできるだけ金額を抑えられるようにしてほしいです。 物価上昇しているからと言って、全体で 2 0 0 0 m²減になるにも関わらず、設計費・管理費が 9. 7 億から 1 3. 3 億になるのは、納得できません。 ずさんな計画では、総事業費が膨れ上がるばかりです。 その金額が妥当かどうか？きちんと第三機関もしくは有志もしくはボランティアの方に精査していただくことが必要だと思います。 本当に B 案が、町民や別荘民の方の多数の支持を得られているのか？甚だ疑問ですが、事業費に関しては、できるだけ適正価格で計画していただきたいです。
6	(素案) P68～71 (案) P64～67	HP で 1 月末からパブコメが募集されているのを見ました。 これに先の委員会で報告された公民館の利用調査はついているのでしょうか。 しっかりした調査報告ですので、公民館整備について住民の意見を聞くためには、お知らせする必要があると思います。 またこの素案では土屋町長が提示されている事業費 8 0 億円というシーリング値をはるかに超えた事業費額となっています。 そのため 7 1 頁の建設費の参考値に挙げられている安中市以下 3 庁舎について、それぞれの人口（現在の市民数、町民数）を教えてください。 これらの庁舎に公民館機能の有る無し、また各設計報酬額もお調べいただくようお願いします。
7	(素案) P68～71 (案) P64～67	1) 設計費（予定額） 国交省の技術者単価から標準的な計算をすると、かなり逸脱した数字に思えますので、町役場（建設コンサルのお二人含め）の算定根拠をお知らせください。また比較値としている他市町の庁舎建設費（p68）における設計監理費を調べると参考になると思います。
8	(素案) P68～71 (案) P64～67	2) 建設費 東京圏では大規模開発が近年の建設費高騰のため、軒並み延期や中止となっています。そのためか民間事業者では建設費の高止まりはあるものの、今後も毎年 1 ～ 2 割上がるという状況ではないと言われています。町役場としての今後の予測をお教えてください。 また外構工事費 16. 5 億円の明細をお教えてください。特に比較対象の他市町の庁舎

		建設費に、外構費が算入されているのか除外されているのかは、建設坪単価を比較する上でポイントかと思います。
9	(素案) P61 (案) P59	4) 運営管理の外注 担当課から交流センターの運営について（おそらく以下の理由で町職員だけで運営するのは難しく）、指定管理者制度など検討していきたいとの話がありました。 ・公民館はこれまで教育委員会の所管だったが、交流センターは町も運営に関わる。 ・機能拡充でコンサートや展覧会、飲食施設など、これまで公民館では行ってこなかった用途に関するノウハウがない。 しかし不特定多数（住民以外も）が利用する交流センターと、庁舎・議会が合体した建物となりますと、まずセキュリティ対策、騒音の問題（防音対策は工事費アップ）があり、また外注すると不安なのが「個人情報漏洩リスク」が高まることです。「交流センターは無理矢理作る必要は無い」が、住民の多くの意見だと思いますので、今後の熟議が求められます。
10	(素案) P68～71 (案) P64～67	■庁舎周辺整備にかかる費用（p76） ①基金 2027年には40億円積立て済み ②補助金・交付金 ZEB化の上限5億円、木造整備の上限3億円 ③地方債 総事業費120～125億円から①②を引くと72～77億円か？ ※上記には今後かかるライフサイクルコスト（管理運営費、修繕費）は入っていません。 現在軽井沢町の財政が地方交付金を受けなくても済むほど潤沢なのは、1万6000戸に及ぶ別荘からの固定資産税収入が町税の主体なためです。しかしこれからは主たる別荘住民である団塊世代が被相続の時代になります。その時保有コストなどに難色を示す相続者が、相続放棄、固定資産税未払いとなる事態が容易に想像されます。また歳入増を図るため町が観光化を進めると別荘地としての魅力が薄れ、尚更別荘住民の離反を招く悪循環も考えられます。庁舎・交流センターのために70億円超の地方債を起債するのであれば、数十年先の歳入予測、人口動態予測を数値で提示する必要があると思います。甘い需要予測で多額な建設費を投じることは「ハコ物行政」となり、軽井沢町の歴史に禍根を残すことになりかねません。
11	P68～71 (案) P64～67	■建設費（p72） 基本計画案にある建設費、設計費に関してです。 コロナ禍後、異常な建設コストの上昇がありました。主たる理由は円安による資材費の高騰、人件費の上昇、大阪万博や災害復旧需要に因るものと思われますが、それでも本案の地上2階建にして坪単価264万円は、割高に思えます。それは今後の更なる建設費の上昇を織り込んでいるためだと思いますが、東京圏では今のところ建設費は高止まりで、円高になれば下振れすることもあり得ます。そこで問題となるのは、軽井沢の「特殊事情」です。私見は控えますが、ここは是非、町部局が精査していただきたい点かと思います。 また設計費・管理費についてです。計画見直しのコンサルを依頼している現JVチームが引き続き設計管理業務を行う場合、既に基本計画で1.7億円を支払っている

		ので、今後減額交渉の余地があるのではないのでしょうか。さらに総額 13.3 億円については、国交省「設計業務委託等技術者単価」によればおおよそ半額近くとの試算も成り立ち、この積算根拠についても十分な説明責任が生じるものと思われます。
--	--	---